

- 有限会社ビクトリーポークは豚ふんを堆肥化して新おたる農協管内の耕種農家に供給し、耕種農家から供給された飼料用米を豚の餌料とする耕畜連携を進めている。

## ■ 国内資源の種類

・豚ふん

## ■ 肥料の種類・肥料名称

- ・種類：特殊肥料（堆肥）
- ・肥料名：豚ふん堆肥

## ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

### 取組の経緯

- ・2013年頃から、有限会社ビクトリーポークは新おたる農協との連携により飼料の1つとして飼料用米を使用。
- ・ビクトリーポークでは、規模拡大に伴って増加する堆肥の供給先を確保する必要があり、飼料用米等を生産する耕種農家では、肥料の使用量の低減による経営の安定化が課題であったため、相互に堆肥及び飼料用米の安定供給に努めている。

### 取組の内容

- ・2013年から、豚ふん堆肥と飼料用米の交換による耕畜連携を開始。
- ・地元のお米を食べて育った「小樽美米豚（おたるみらいとん）」というオリジナルブランド豚が誕生。

### 成果（見込み）

- ・ビクトリーポークでは、飼料用米の活用で約5.3%の餌代削減につながる。
- ・耕種農家においても、堆肥の活用による肥料費の削減が見込まれる。

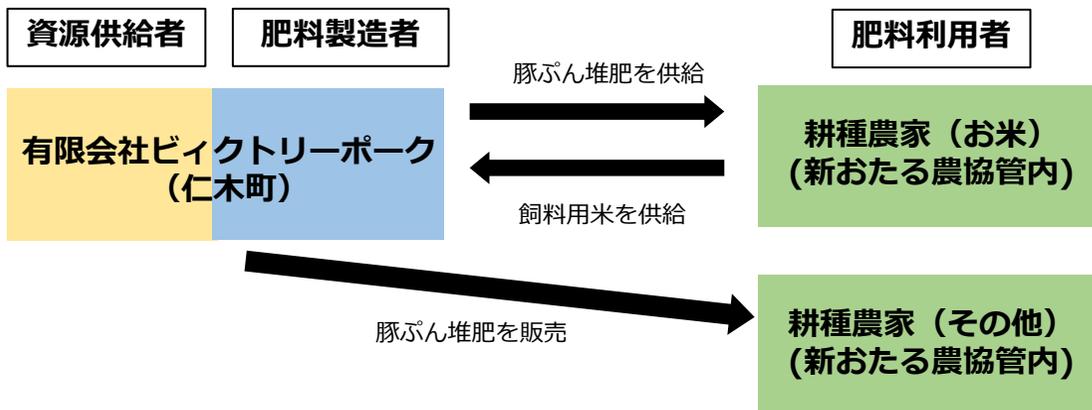
## ■ 作物

- ・米
- ・ビート
- ・玉ねぎ
- ・にんじん
- ・かぼちゃ
- ・桜桃
- ・ミニトマト

## ■ 主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K	その他
4.3	7.9	2.8	85

## ■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



## ■ 今後の課題・取組

- ・耕種農家の高齢化が進み、水稻作付面積の減少に伴い飼料用米の作付面積も減少する事が想定されており、飼料用米の安定的な供給量の確保の為に多収量品種への切替をする必要がある。
- ・耕種農家のうち、中小農家はマニュアルスプレッターを所有しておらず、堆肥を購入すると堆肥散布に労力が奪われるため、堆肥の積極的な購入にはつながりにくい。

